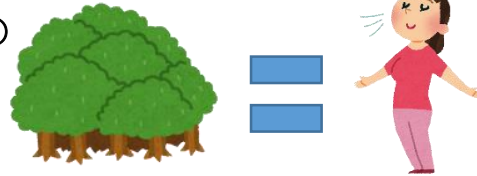


## 木を植えて、育てて、楽しもう

- 木（スギ）を1本植林した場合、  
年間のCO2吸収量は14kg-CO2/本  
※ 人が呼吸で年間に排出するCO2（320kg）  
＝スギ23本分の吸収量



- 『木とふれあい、木に学び、木と生きる』木育の取組は、  
人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育みます。



## 森林

## 森林散策でリフレッシュしよう

- 森の中を歩くと、ストレスホルモンや血圧、脈拍数が減少するなど、都市部と比べてリラックスした状態になります。
- NK（ナチュラル・キラー）細胞が活性化し、  
免疫力向上につながります。



## 暮らしに木を取り入れよう

- 木のもつ調湿作用などは、快適な室内環境につながります。
- 木をつかうことで、植林や間伐等の森林の手入れにも貢献できます。
- 暮らしに木材を取り入れることで、木の持つ素材感ならではの温かみを感じられます。
- 一般的な木造住宅を建てた場合、CO2固定量は約14トンのCO2  
※14t＝札幌ドーム3個分のスギ（林齢50）が1年で吸収する量
- 道産材を利用した場合の地域経済への波及効果は、  
輸入材を使用した場合の約9倍との試算も！

北海道立総合研究機構 林産試験場「道産木材の利用によるCO2削減効果と地域経済への波及効果」  
[https://www.city.sapporo.jp/kankyo/sdgs/event/211018seminar/documents/keynotespeech\\_1.pdf](https://www.city.sapporo.jp/kankyo/sdgs/event/211018seminar/documents/keynotespeech_1.pdf)

